



森づくりサポーターニュース

令和3年(2021年)3月30日号

びわこ地球市民の森(森づくりセンター)

〒524-0102 守山市水保町2727 TEL 077-585-6333 FAX 077-585-6312
 メールアドレス biwako@moridukuri.info URL <http://www.moridukuri.info>

森の散策コースと見どころ紹介(4)

このテーマの最後の号となりました。1年前の4、5月、県営都市公園では、主に県外からの来園者の入園を防ぐため、駐車場が一斉閉鎖になりました。6月1日に閉鎖を解きましたが、現在まで新型コロナウイルス感染症は拡大を続けています。3か月前の前号発行時(11月末)に滋賀県では760人の感染者を数えましたが、今ではその約3.5倍です。

さて、今号では春3~5月の見どころを紹介しましょう。

園内の木々は、冬芽として準備していた花芽や葉芽を一斉に開きます。園内で一番多いクヌギやコナラ、カシワなどのブナ科の木々たち(一部は枯れ葉を樹上に付けたままだった。)、その次に多いエノキやムクノキ、ケヤキなどのニレ科の木々たち、そしてヤマザクラやエゴノキ、コブシなど。落葉樹は一気に萌葱色の装いになり、常緑樹はこの時期に古い葉を落としながら新葉に変わっていく。正に、森の外からでも中にいても、木々たちの息づかいが感じられるようです。また、それぞれの木は、目立つものと目立たないものがありますが、雄花や雌花を咲かせ実を結んで、秋の実りに向かいます。



大エノキとその周辺(3月)



大エノキとその周辺(R元.5月)



ネコヤナギ(3月)

昨秋から冬にかけて水路の中や法面の草刈りをして、一帯がきれいになりました。この春のヨシの芽立ちが楽しみです。ヨシ原とオオヨシキリなど、そこに棲む生き物たちの賑わいが想像できます。ただ一つ心配なことは、里の森ゾーンの芝生園地傍の水路で、昨年初めて異常発生し除去したオオバナミズキンバイが、どの程度生き残っているかということです。芽が出始める時期に注意する必要があります。



里の森ゾーンのヨシ原(R元.5月)



ふれあいゾーンの5月(R元)



ハコネツギ(5月)

いろいろな高木、低木そして雑草の花が咲き乱れる春、いよいよ全ての生き物が息づく春がやってきました。今年の琵琶湖では、3年振りに全層循環がありました。冬が寒ければ寒いほど春の花は鮮やかで、きれいな気がしますがいかがでしょうか。たくさんの花や新葉の春の競演を是非とも観にお越しください。

森に活気!

第4回森づくりサポーター活動開催!

新型コロナウイルスや台風などの影響で、野外での育樹作業が一昨年の3月以来2年ぶりとなった今年度の第4回森づくりサポーター活動が、令和3年3月6日(土)、心配された雨も上がり早春の光が時折さす穏やかな天候のもとで開催されました。

当日は、マスク着用など新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底した中、森づくりサポーター107名と多くの皆さんが参加し、江見所長のあいさつと平塚森づくり企画員から作業内容の説明のあと、森の中の活動が始まりました。



開会式(江見所長あいさつ)



作業内容説明(平塚企画員より)



作業現場に移動

今回の活動は、平成20年~21年に植栽された里の森ゾーンで、10m近くにまで生長したアラカシ、シラカシなどの常緑樹、クヌギ、コナラ、センダンなどの落葉樹が混み合った森で、できるだけ密を避け広い範囲に分かれて間伐などの作業を実施しました。



里の森ゾーンでの間伐作業(密を避け分かれて実施)

久しぶりの森の中の活動であり、また前日の雨で足元が悪く、さらにマスクを着用した作業でしたが、サポーターの皆さんは熱心に取り組み、森は明るさを増して木々が一層元気そうにみえました。



間伐後の常緑樹の森(左)と落葉樹の森(右)

当日は、新型コロナウイルスで自粛ムードが続く中、皆さんが集い自然の中で体を動かし、森も活気が戻ったように感じました。参加していただきました皆さん、どうもありがとうございました。来年度も新型コロナウイルス感染拡大防止対策を十分に行い、より充実したサポーター活動を計画していきますので、皆さんのご協力とご参加をよろしくお願いいたします。

びわこ地球市民の森で自然体験キャンプ(冬)

新型コロナウイルス感染防止に努めながら、小学生対象の「ウィンターキャンプ」と「お正月キャンプ」を実施しました。

「ウィンターキャンプ」は、初めて出会ったお友達と一緒に、外で思いっきり遊ぶ仲間作りから始めました。今回のメインプログラムは、「お菓子の家づくり」。スポンジケーキ、ホイップクリーム、チョコペンに、様々な種類のお菓子をを用意し、ウエハースや板チョコなどを壁にして家を作ります。作戦タイムでアイデアを出し合い、かわいい家が完成。クッキングや夜の森探検、望遠鏡で月のクレーター観察、トイレトペーパーを竹に見立てたペーパー門松作りなど、元気に活動しました。

「お正月キャンプ」は、牛乳パックでオリジナル羽子板を作り、凧揚げやコマ回しなどお正月遊びを中心に楽しみました。餅つきは、森づくりサポーター「はやの森探検隊」の皆さんにお手伝いいただき、子ども達は交代しながら餅つきを行いました。つきたての餅を食べさせたいところですが、今回は購入した餅を炭火で焼いて食べるよう気をつけました。

コロナ禍で自粛を余儀なくされている子ども達が、密にならない野外で、いきいきしながら思いっきり外遊びを楽しむ姿が印象的でした。

最後に「森のようちえんファミリー~森のクリスマス会~」では、サプライズでサンタクロースが登場しました。そのサンタの正体は・・・?



みんなでお菓子の家づくり



お菓子の家完成!



旧センターでクッキング



手作り羽子板で集合



牛乳パックの手作り羽子板



餅つき体験



森のようちえん間伐体験



サンタの正体は江見所長!



第7回「森づくり活動団体」 情報交換会を開催!

令和3年1月29日(金)に、森づくりサポーターとして登録し、定期的に活動している団体(ふくの会、さんまる会、森楽、みいの会フォレスト、32期園芸、レイカ33会、みろく会、レイカ36会、みなのか、レイカ37会、はやのの森探検隊、花の38会、ENG39A、LBK39、花の40、森の健康40)の代表者など19名が集まり、今年度で7回目となる情報交換会が行われました。

まず、出席者の自己紹介や各団体の活動状況の報告などがあり、続いて、「森や公園の利・活用」について話し合いました。

今井サポーター代表から、「開園して20年が過ぎました。各担当区域の目的を知って、それに合わせた森づくりをしていきましょう。」江見所長から、「皆さんには、各担当地の特色(樹齢・樹種とその樹の特徴等)を知って、主体的に考えながら、森の手入れをしましょう。」「子供たちを森へ誘うため、小道をつくってほしい。」と提案がありました。

出席者からは、「この森や公園が知られていない、もっとPRを」「新しい道ができれば、来園者が増えるのでは」「それぞれの活動や、企業のCSR活動などももっとPRしてほしい」「森の魅力づくり、森で遊べるポイントづくりをして、客を引き込む」「花が少ない、花を植えたい、花に適した土壌づくりをしてほしい」などの意見がありました。

子ども達が、親子が、
森や他の生き物とかかわり、体験する「仕掛けづくり」

樹を育てて森づくり(育樹)

森とかかわって森づくり(利・活用)



森にある粗朶(そだ)で、秘密基地?

お知らせ

びわこ地球市民の森のつどい2021について

「びわこ地球市民の森のつどい」は、令和2年度、新型コロナウイルスの影響で中止しましたが、令和3年度は感染防止対策を徹底し屋外を中心に5月16日(日)に開催を予定しています。森のつどいに多くの皆様のご参加をお待ちしています。

令和3年度森づくりサポーター活動の計画

令和3年度	5月16日(日)	びわこ地球市民の森のつどい2021
令和3年度	7月24日(土)	植樹地の育樹活動と自然学習など
令和3年度	10月9日(土)	植栽地の育樹活動と自然学習など
令和4年度	3月5日(土)	植栽地の育樹活動と自然学習など

※なお、「つどい」、「サポーター活動」については、新型コロナウイルス感染拡大の影響で活動内容を変更したり中止になる場合がありますのでご了承ください。



編集後記

新型コロナウイルス感染拡大や台風などの影響で中止が続いていましたサポーター活動が、3月6日ようやく開催されました。

森の中での作業としては、平成30年3月以来、2年ぶりの活動です。当日は、サポーターの皆さんの元気な作業風景を見て、久しぶりに森に活気が戻ったように感じました。

令和3年度は森が20年(はたち)を迎える記念すべき年です。どうかこの一年が新型コロナウイルスも収まり、森づくり活動が安心して行えるよう願っています。

森のデータ

森の面積	42.5ha
森の延長	3.2km
森の幅	100~200m
植樹面積	80,808㎡
植樹期間	H13~H25
植樹活動参加者数	44,994人
植樹本数	160,967本
森への利用者数(R1)	232,135人
森づくり活動参加者数(R1)	8,036人
うち育樹活動参加者数(R1)	3,078人